

平成21年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	9.教育費	事業名	2.教育センター管理運営費			
項	1.教育総務費	細事業名				
目	4.教育センター費	担当課・係	教育センター	(執行課: 教育センター)		

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位:千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	1,376	要 求									1,376
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり / 学校で楽しく安心して学べるまちづくり / 教育センターで学習状況調査等を実施します。								
	【道徳副読本の作成に関する業務】	施策体系コード	03-02-01-10-10			事業番号	240-1				
	・佐倉学道徳副読本作成委員会を開催し、佐倉市内小中学生の道徳意識の現状と課題を踏まえたうえで、佐倉ゆかりの先覚者を題材とした佐倉市独自の道徳副読本を作成する。	総事業費	4,207千円				事業期間	平成18年度～平成22年度			
	【学習状況調査に関する業務】	年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度				
	・学習指導要領に基づく国語、算数・数学、英語の基礎的な学習内容の一部について、定着状況を到達度調査し現状と課題を明らかにする。		420	420	488	1,376	1,503				
		(事業実施に関する根拠法令) 佐倉市教育センター設置条例									

< 事業に関する説明 >

(事業の説明)	(事業の目的)	(事業の効果)
<p>・佐倉市教育ビジョン推進計画に基づき、学力向上を図るための指導の工夫など、学校教育における教育課題に関する調査研究を行う。</p> <p>・佐倉学道徳副読本作成委員会を開催し、佐倉の先覚者を教材とする道徳副読本を作成する。</p> <p>・次期教育ビジョンの策定にあたり、市民の教育に対する意見を広く取り入れ、市民とともに佐倉のあるべき教育の姿を明らかにするための調査を行う。</p>	<p>・市内小中学校の児童生徒や教職員の教育課題に関する調査の集計、分析、考察を行い、教育委員会の施策の改善を図る。</p> <p>・市内小中学校の児童生徒及び年代別佐倉市民を対象に、アンケート調査を実施し、教育委員会各課が次期ビジョン策定のための基礎資料とするための、集計及び分析を行う。</p> <p>・佐倉市内の児童生徒が道徳的価値及び人間としての生き方について自覚を深められるように道徳指導の工夫改善を図る。</p>	<p>・佐倉市の教育課題を的確に把握することにより、新しい時代に対応し、佐倉市の特色を生かした教育を推進できる。また、児童生徒の学力向上を目指した指導法改善に関する調査研究を行うことで、各学校の研究に対し適切に指導・助言できる。</p> <p>・市民からの教育に関する意見を広く調査することにより、より市民のニーズに合った教育ビジョンを策定できる。</p> <p>・佐倉ゆかりの先覚者を題材とした道徳副読本を活用した授業を行うことで、児童生徒の道徳的態度や人間としての生き方についての自覚をより高めることができる。</p>
(事業実施上の問題点)	(前年度からの見直し点)	(見積についての特記事項)
<p>・佐倉市学習状況調査は、6回目となり定着が図られている。そのため、各学校における基礎学力向上のための取組も充実し、児童生徒の基礎学力も向上してきた。しかし、学んだことを活用する力や表現力・思考力では課題が残る。</p> <p>・広く市民の意見を聞くため、児童生徒及び保護者、年代別地区別に無作為抽出した市民を対象とするため、対象人数が約5千人となり事務処理及び集計等にかかなりの時間を要する。</p>	<p>・学習状況調査は、基礎学力定着を目的に、国語と算数・数学、英語の調査を実施している。昨年度から実施された全国学力・学習状況調査との関連も考慮し、児童生徒の学習に関する意識調査の内容の見直しを図った。</p> <p>・佐倉の先覚者を教材化し、道徳の副読本としての資料を作成している。また、研究校を中心に授業実践をととして、副読本としての完成をめざし、内容の改善を図っている。</p>	<p>・佐倉市学習状況調査の予算の見積もりについては、枚数や単価はぎりぎりのところで設定しており、これ以上の減額は困難な状況にある。</p> <p>・平成22年度末に小学校低学年版、小学校高学年版、中学校版の道徳副読本を完成し、市内全小中学校に配付する。</p>